

向島収容所（広島第4分所）メモ

（ローラ・カミンズさんの亡夫、フェロン・カミンズ氏が収容）

1942.11.27 広島県御調（みつぎ）郡（現・尾道市）向島（むかいしま）西村の向島紡績の敷地内に、八幡仮俘虜収容所向島分所として開設。ジャワからのイギリス兵約100人到着。

1943.1.1 福岡俘虜収容所向島分所と改編。

1943.3.1 福岡俘虜収容所第1分所と改称。

1943.7.14 善通寺俘虜収容所に移管、同第1分所となる。

1943.12.1 善通寺俘虜収容所第1派遣所と改称。

1944.9.4 フィリピンからアメリカ兵116人到着。

1945.4.13 広島俘虜収容所に移管、同第1派遣所となる。

1945.8. 広島俘虜収容所第4分所と改称。

1945.8.15 終戦。

1945.8.20 B29 搭乗員10人（うち将校4人）到着。

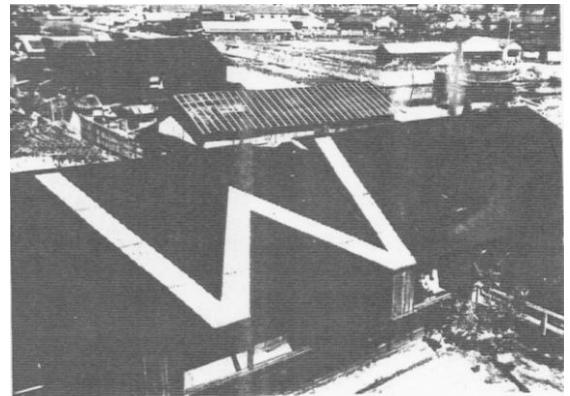
1945.9.12 帰国の途に着く。

●終戦時の収容人員は194人（米116、英77、加1）

●捕虜たちは島の東西にある日立造船向島造船所で使役され、船の清掃、材木や資材の運搬、溶接、鍛冶などの仕事に従事した。

●終戦までに24人（米1、英23）が死亡したが、そのほとんどが栄養失調、ビタミン欠乏症、脚気、腸炎、肺炎などであった。そのうち15人は収容所に到着後2ヶ月以内に死亡しており、「地獄の航海」による疲弊がたたったものと思われる。

●1998年、英国で和解活動に取り組む恵子ホームズさんに引率されて英元捕虜ノーマン・ウイドレイク氏が訪問したことをきっかけに、町民の間から、収容所の史実を継承していこうという運動が起こり、2002年、向島中学校近くの公園に「日英友好の記念碑」が完成し、収容所があった向島紡績の赤レンガ倉庫の壁には、収容所で死亡した英捕虜23人の名前を刻んだメモリアルプレートがはめ込まれた。ところが2012年、向島紡績が倒産し、メモリアルプレートをはめ込んだ赤レンガ倉庫も取り壊されて、跡地にスーパーマーケットが建つことになった。町民有志は再び奔走し、このスーパーマーケットの協力を得て、敷地の一角にメモリアルプレートを移設、さらに米元捕虜のための慰霊碑も建立し、2013年4月15日にその除幕式が行われた。



終戦直後の収容所（イギリス兵宿舎）



2つの慰霊碑に献花する英国総領事と米軍岩国基地司令官

（文責：笹本妙子）